

DX 推進宣言

当社は、発酵機器の製造企業として、発酵技術とデータ活用を中核としたものづくり体制への転換を推進します。

市場環境の変化および発酵ニーズの高度化が進む中、製品の付加価値向上と開発スピードの強化は、当社の競争力を左右する重要課題であると認識しています。従来の分断された業務管理体制や開発環境では、迅速な意思決定と継続的な製品改良を実現する上で限界がありました。

この課題に対応するため、当社は二段階の DX を推進します。

第一段階として、受発注・生産管理・在庫管理・原価管理を統合する基幹システムを構築し、製造データの一元管理と可視化を実現します。これにより、属人化の排除と経営判断の迅速化を図り、データに基づく意思決定体制へ移行します。

第二段階として、発酵機器の機械試作および発酵メニュー試作を含む試作機能を高度化し、発酵条件の検証と再現性の確保を高密度かつ高速に実行できる体制へ転換します。試作の同時並行化と検証精度の向上により、設計・試作・発酵検証・改良のサイクルを加速させ、開発リードタイムの圧縮を目指します。

これにより、当社は発酵制御技術の高度化と製品体験価値の向上を実現し、データ活用型ものづくり企業へ進化します。

当社は DX を単なる業務効率化ではなく、発酵試作を戦略資産と位置づけた経営変革と捉え、発酵機器分野における競争優位性の確立と企業価値向上を実現してまいります。

2026年 2月 26日

タニカ電器株式会社
代表取締役

谷口 雄史